

所管課		教育推進部学校教育課															
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策										
	第3章 元気創造都市			03 学校教育			01 特色ある学校園をつくる										
	事業：学校教育推進事業													整理番号	0545		
	創意と活力に満ちた特色ある学校園づくりに寄与し、子どもたちの心身ともに健やかな成長を図る。																
目的		先取りした教育活動の実施により、児童・生徒の学ぶ意欲を向上する。															
目標																	
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		128,738		コスト情報・評価	総コスト(千円)		143,682		総合評価	A	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源		118,020		内訳	事業費		128,738			効率性		A			
		国府支出金		10,718			人件費		14,944			有効性		A			
		地方債		0			公債費		0			各学校園における創意と活力に満ちた特色ある教育活動を推進することができた。					
		その他特定財源		0			一人あたり(円)		1,287								
							世帯あたり(円)		3,040								
	評価理由																
	貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	先取りした教育活動の実施により、児童・生徒の学ぶ意欲を向上できた。										
今後の方向性	補助金の活用だけでなく市独自の活動も充実していく。																

事業 優先順位		1			細事業：小中一貫教育推進事業					整理 番号		05		
目 的		小・中学校のそれぞれのよさを活かし、一貫性のあるきめ細かな指導体制の確立により、義務教育9年間の健やかな成長と確かな学力の向上を図る。												
目 標		全ての中学校区において、小・中の教職員の教育課程に関する共通認識を図る。												
事業 実施主体		直 営		事業開始 年 度		平成22年度		根拠 法令						
事業費・財源	財 源 内 訳			平成25年度	平成24年度	比 較		コ ス ト 情 報 ・ 従 事 職 員 数			平成25年度	平成24年度	比 較	
		事業費（決算額）（千円）		50,301	50,378	-77			総コスト（千円）		53,961	55,536	-1,575	
		一般財源		41,172	41,421	-249			内 訳	事業費		50,301	50,378	-77
		国府支出金		9,129	8,957	172				人件費		3,660	5,158	-1,498
		地方債		0	0	0				公債費		0	0	0
		その他特定財源		0	0	0				一人あたり（円）		483	492	-9
				0					世帯あたり（円）		1,142	1,178	-36	
				0					参 考	職員数（人）		0.48	0.65	-0.17
				0						再任用職員数（人）		0.00	0.00	0.00
		今 後 の 方 向 性		小中一貫教育計画の立案、実施、評価のサイクルを全ての教育活動に定着させていく。										
評 価	妥当性		効率性		有効性		対 象 者	児童・生徒及び保護者						
	A		A		A									

事業：学校教育推進事業

知・徳・体の調和のとれた子どもの育成に向けて、各学校園における創意と活力に満ちた特色ある教育活動を推進するため、小中一貫教育推進事業、学校図書館司書充実事業、国語力向上事業、情報教育推進事業、キャリア教育推進事業、英語教育推進事業を実施した。

細事業：小中一貫教育推進事業

1. 小中一貫教育推進事業

市立小・中学校の教員に兼務発令を行い、市費負担非常勤講師（マイタウンティーチャー）を配置し、事業にあたる教員の授業時間を軽減することにより、小・中の段差解消、スムーズな接続を目的とした相互乗り入れ授業などの小中一貫教育推進事業を推進した。

- ・小中一貫に関するマイタウンティーチャー配置

全中学校区

- ・つながりアップカリキュラム作成

各中学校区で、教科、ふるさと学などカリキュラムを作成、及び指導事例集を作成。

- ・小中一貫教育活動の実践

異校種の児童・生徒に授業や行事の指導を通して、児童・生徒理解を深め、効果的な教科指導や生活・生徒指導等を実施。中学校の教科担任制に向け、小学校の一部教科担任制を実施。授業や行事等を小中合同で行うことを通して、中学校での学習や学校生活に対する児童の不安解消を図った。中学校教員が小学校で、あるいは小学校教員が中学校で授業を行うなど、将来を見据えた円滑な人間関係を構築した。

- ・市全体の小中一貫教育推進連絡会や各校区ごとの成果報告会を実施した。